

鈴木市長の話聞いて、一番心に残ったのは、「たとえ周りの人がみんな自分の考えに反対したとしても、その考えが自分の志に反していなければそれでいい。誰が反対しても、その人を説得できるくらいの自分の気持ちをもっているなら大丈夫だ」という話です。

私は何か悩み事があるときに、自分では少ししか考えず、他人に相談してその人の意見に流されがちです。一方鈴木市長は、自分の人生がかかっている大きな選択をするときに、誰にも相談せず、あえて一人で悩んでいたという話を聞いて、鈴木市長は「自分」というものがしっかりできているんだなあと思いました。今の私には鈴木市長のように大きな選択を自分一人で決めることは難しいかもしれないけれど、少なくとも自分の考えはしっかりと持って、それを他人に説得できるくらいの強いものにする努力をしようと思いました。時間はかかると思うけれど、私も「自分」というものを確立させていきたいです。(21H男子)

私が初めて夕張を訪れた時その現状に驚きました。道を歩くのは老人とほんのわずかな子ども達だけ。かつての「炭鉱の町」という面影は一切ない、とても悲しい町だなあ、と正直思いました。その中で私は夕張市長の講演を拝聴させてもらいました。そして多くの事を学びました。

第一に「何でも失敗を恐れずにやってみる」ということ。

第二に、夕張の現状が日本全国の未来の姿であるということ。

この2点を知り、私は将来の日本は今の学生が責任を持って背負っていかなければならないのだなあ、と痛感させられました。でも、私は暗い気分にはなりません。それは炭鉱が消え、観光事業にも大失敗し、多額の借金を抱え、人口がかつての約十二万人から約一万人まで減り、財政破綻までしてしまった(少し言いすぎましたが) そのようなとても苦しい夕張の現状を背負う市長であるにも関わらず、市長は明るく、ユーモアと情熱にあふれる姿を私たちにを見せてくれたからです。また、私の夕張に対する見方もただ「悲しい」ではなく、「復興に向けて市民が一丸となって一生懸命取り組んでいる町」というものに変化していました。さらに、とても大きな活力を与えてくれました。私も市長のようにめげずに一生懸命がんばっていき、未来の日本を支えていこうと思います。

この度は、私たちのためにわざわざ時間のない中講演を行っていただきありがとうございました。

(26H男子)

僕は、夕張市長の話聞いて印象に残ったことが2つあります。

まず、「後悔のない決断をする」ということです。夕張の市長は給料が70%カットされ、退職金はないそうです。加えて、当選が不確実であることや、当選しても家族と生活していくことができるのかという葛藤の中での決断はとても勇気が必要だったと思います。鈴木市長は以前に東京都の一公務員の職に就いており、もし自分が市長の立場だったらと考えるとなおさら大きな決断だったのだろうと思います。大切なことは自分の意志で決断し、後悔のないようにすることだと分かりました。

2つ目は「最高の経験と最低の経験をする」ということです。この言葉を聞いてから、辛いことや大変なことも未来のためであるとポジティブに考えることができました。

これから受験など大変なこともたくさんあるだろうけれど、この2つの言葉を思い出してがんばって行きたいです。(24H男子)

私は講演を聞いて少し驚きました。英語の授業で学んでいた夕張や市長のことから想像して、夕張は暗い印象なのだろう、市長は疲れ切っているだろう、と思っていました。しかし、夕張はすごく明るくて温かい街であり、市長はむしろいきいきとしていました。また、鈴木直道さんの講演は短いなかでたくさん興味深い話を聞くことができ、とてもいい時間になったと思っています。夕張市長に立候補した理由、最初は絶望的な状況の下で行った選挙、夕張へ行くまでの経緯、石原さんからの激励など、全部楽しく聴かせていただきました。特に印象に残っているのは、「最高の経験と最低の経験」についてのお話です。中高生のうちにしておかなければ、大学や社会に出てからはなかなかできない、ということも言われたので、あと2年弱しかない高校生活でしなければと思いました。そして、その経験をバネにして人生の選択をしていきたいと思います。(27H女子)

私は夕張市長の話聞いて、自分のやりたい事は必ずやるのが大切だと思いました。人生は一度しかないから、やりたいと思ったことには何でも挑戦していかないとダメだと感じました。

話を聞く前、鈴木さんは誰かに頼まれて夕張の市長になったのだと思っていました。財政破綻した夕張の市長になることはとても大変なことだということは誰でもわかることだし、自分からなりたいと思う気持ちは私には分からなかったからです。でも実際に夕張に行ってみて、鈴木さんの話を聞いていて、初めは公務員が安定していたからという理由でも、夕張に派遣されてちゃんと現地の人と触れ合ったから夕張を立て直したいと思われたのだと思います。また、夕張市の人々に市長になって欲しいと言われるのはとてもすごいことだと思いました。それだけ鈴木さんは仕事をしっかりやっていたのだと思います。そしてそんな市民の方々がいたからこそ市長になることを選んだのだと思いました。

本当にやりたい事をやる時には、それなりのリスクがあると思うし、勇気がいることだと思っています。でも、やりたい事ができるのは、周りに一人でも支えてくれる人がいるからだと思っています。鈴木さんの場合はそれが市民の方々と石原さんだったのだと思います。これからは支えてくれている人にちゃんと感謝し、自分のやりたい事に挑戦していきたいです。(22H女子)

夕張市長の話聞いて印象に残ったことが二つあります。一つ目は、鈴木さんが市長になる選挙に出るか出ないかで迷った時の話です。その時、出ない理由はたくさんあったのに、断ることをためらったのは心の底ではやりたいという気持ちがあったからだったというお話を聞いて、何か物事をやらない理由、やれない理由があったとしても、それを全部頭から出したときにやりたいという気持ちがあればやるべきなんだと強く思いました。

二つ目は、学校生活の間に最高の経験と最低の経験をしてくださいというものです。最高の経験をすればその経験をもう一度したいと思う、最低の経験をすれば、何でも乗り越えられるようになる、というのは本当にその通りだと思いました。

これから夕張市長のお話を、人生に活かしていきたいと思いました。(25H女子)

バスの中で、鈴木市長が出張で夕食後の講演会が無くなる聞いたときは残念でしたが、最終的にはお話を聞くことができるようになったので嬉しかったです。講演後、鈴木市長は改めてすごい方だと感じました。もし私が夕張市に行けと言われても地元を離れるのが嫌だし、何よりその先どうなるのか不安なので絶対行かないと思います。話の中で一番印象に残ったのは、周りを説得できるくらいに自分の意見を持つ、ということです。私は普段から自分の意見を突き通す方ではなく、周りの意見に流されてしまうタイプなので、やっぱりこういうことは大事なのだと思いました。これからはもう少しチャレンジ精神をもって、積極的に行動できるように頑張っていきたいと思います。今回は貴重なお話を聞くことができ本当に良かったと思います。(23H女子)

私は、今回の講演を聴くまで、なぜ鈴木さんが夕張市長になろうと決心したのか分かりませんでした。財政破綻をしている市の市長は、給料も少ないし課題もたくさんあるからです。でも今回の講演を聴いて、鈴木市長は夕張市長になるか、ならないかの二択を選ぶとき、「市長にならなかつたら後で必ず後悔する」と思い、市長になると決めたと知りました。

私は、高校二年生の今、これから先の将来に関わってくる大切な選択がたくさんあると思います。市長もおっしゃっていた進路選択や、日々のやるか、やらないかの選択です。これから私が選ぶべき答えに困ったときは、今回の講演で鈴木市長がおっしゃっていた「後悔するか、しないか」を真剣に考えたいと思います。

今から大切な選択をしなければいけない私たちにとって、今回の講演はとても貴重なお話でした。

(28H女子)